

# 平成18年度 第17回関東高等学校バスケットボール新人大会

平成19年 2月 10日 (土) 会場 ひたちなか市総合運動公園総合体育館

【男子第2回戦】 第1日目 Aコート 第6試合

チームA <b>京北</b> 東京	<b>100</b>	30 1Q 26 24 2Q 29 20 3Q 31 26 4Q 28 OT	<b>114</b>	チームB <b>湘南工科大学</b> 神奈川
-------------------------	------------	----------------------------------------------------	------------	------------------------------

## 京北

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	フロッグショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	田渡 修人	20	2	5	9	14	2	2	5	1	8		2	3	1	33
5	秋 真志	29	2	5	10	19	3	3	4	1	7	4	1		2	40
6	上原 拓也	9		2	4	6	1	2	2	1	3	3		1	1	32
7	井上 晃伸	2		2	1	2					1	2				9
8	萩原 和也	29	4	10	7	9	3	3	3		1	9	1	3		39
9	工藤 竜二	9			4	4	1	1	1			1	2			10
10	金 賢	2			1	2			2	1	7	2			5	35
11	山下 泰史															DNP
12	石川 翔一															DNP
13	川田 誠															DNP
14	高松 雄大															DNP
15	黒田 翔太郎															DNP
16	中澤 浩司															DNP
17	石津 大開															DNP
18	橋本 大徳															2
コーチ	田渡 優															
		100	6	24	36	56	10	11	17	4	26	19	7	9	9	200
		確率	25.0%	64.3%	90.9%				計	30						

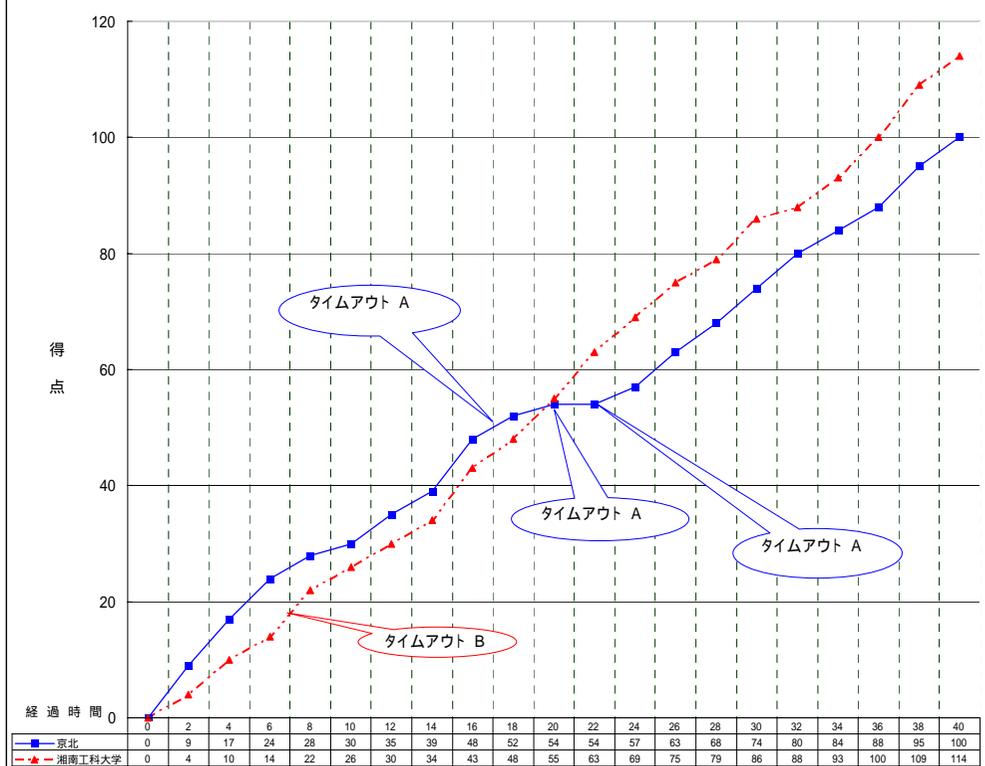
## 湘南工科大学

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	フロッグショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	森田 洋介	48	3	7	17	30	5	7	5	1	4	3	6		33	
5	清田 翔馬	27			11	20	5	8		2	7	3		1	40	
6	芹澤 義仁	8			4	7			4	1	5	1			20	
7	高橋 孝爾	10			5	7			2	2	1	2	4	1	35	
8	星野 健太	3	1	1		3			1		1	1			16	
9	新賀 諭紀														DNP	
10	佐藤 祥啓	4			2	4	1	1							4	
11	鈴木 翔大	3	1	3					1						12	
12	小倉 圭輔														DNP	
13	山田 夏輝	6			3	6	2	2	1	2	1	3	2		24	
14	園 隆太														DNP	
15	大野 元志														DNP	
16	野添 駿														DNP	
17	大野 将司														DNP	
18	岸 涼太	5			1	3	3	4	2		2	1	2	1	16	
コーチ	横山 秀夫															
		114	5	11	43	80	13	22	18	5	19	10	14	13	2	200
		確率	45.5%	53.8%	59.1%				計	24						

スターティングメンバー

出場選手

## 2分毎による得点の推移



## 戦評

1回戦を共に20点差以上で勝ち上がったチーム同士の対戦。東京1位の京北は2-3ゾーンディフェンス、神奈川1位の湘南工科大学はマンツーマンディフェンスで試合は始まった。最初にペースを掴んだのは京北、ドリブルスクリーンからのドライブで次々と得点を重ねる。このピリオドだけで5つのディフェンスリバウンドを取った#10金の活躍もあり、6分過ぎ、26-14とリードを奪う。ここで、湘南工科大学がタイムアウト、#4森田、#7清田のミドルシュートで差を詰める。30-26京北リードで第1P終了。

第2P、京北は#4田渡を起点にオフェンスを展開、自らもドライブインで得点を重ねていくのに対し、ミスを見逃さない湘南工科大学も速攻から得点を挙げ、一進一退の攻防が続く。残り1分、遂にこの試合初めてのリードを奪った湘南工科大学であったが、その後も互いに譲らない展開が続く。55-54湘南工科大学1点リードで折り返す。

第3P、先にペースを掴んだのは湘南工科大学。ドライブインに対して、カバーの甘くなった京北に対して攻撃を畳み掛け、一気に2桁の点差をつける。その後も#4森田の連続3Pシュートが飛び出し、#9工藤のジャンプシュートなどで追いつくが京北を突き放し、86-74と12点差で最後のピリオドを迎える。

第4P、京北#4田渡がポストプレイ、ドライブインとオフェンスの中心となって活躍するが、3分過ぎ、痛恨のファウルアウト。一方、湘南工科大学は#4森田のドライブインからの合わせ、あるいは自らのシュートで、京北に詰めて寄せない。最後まで走り続けた湘南工科大学が114-100で勝利し、準決勝進出を果たした。

主審	安西 郷史(指名)	副審	木下 貴行(神奈川)	記入者	石川 貴之
----	-----------	----	------------	-----	-------